

(1) 平成19年5月14日(月曜日)

## 企業用不動産戦略のオープンセミナー開催へ

弁護士や税理士などの有資格者や、金融・建設・不動産などの各分野で活動するメンバーで構成し、資産活用をサポートするコンサルティング・コーディネート活動を行っているアセットブレインズ仙台ネットワーク(事務局・仙台市泉区上谷刈1丁目7の35 事務局長・佐々木正之氏)は、「CRE(企業用不動産)戦略とCREマネジメント」企業価値を高める不動産戦略」をテーマにしたオーブンセミナーを5月24日(木)の18時30分から20時30分まで仙台市青葉区の宮城県民会館(4階 中会議室)で開催する。

CRE戦略は、企業の事業継続に資する不動産を経営戦略の視点から総合的かつ戦略的に再構築することにより、不動産の潜在価値を引き出し企業価値増大の実現を図るための戦略のこと。国道交通省の調査(15年度)では、日本国内の法人・個人・公的セクターを含めた不動産の総資産額は約2,300兆円で、法人所有の不動産は約490兆円とも言われている。また、土地取引において企業が占める割合は、購入額・売却額のいずれでも50%前後に達しており、不動産市場における企業の存在感は年々高まっているところ。国交省でも18年12月に学識経験者や企業の担当者で構成する「企業不動産の合理的な所有・利用に関する研究会」を設立し、企業不動産の現状と課題を分析

するとともに、新たな不動産マネジメント確立の必要性について検討を開始している。

このような状況の中、今回のセミナーは地方都市におけるCRE戦略の普及活動と企業不動産の適正化・効率化ニーズに貢献する目的で開催する。講師は財団法人・日本不動産研究所業務部副部長の小林信夫氏と同企

業資産評価室長の斎木正人氏。定員は100人だが、オープンセミナーのため、このうち50人程度を同ネットワークのメンバー以外からも募集する(先着順)。申込みは同ネットワーク事務局(TEL022-773-16685 FAX022-371-6880)まで。

## 先着順で参加者を募集

アセットブレインズ仙台NW  
**「CRE戦略」を  
 テーマに  
 オープンセミナー開催**

資産活用をサポートするコンサルティング・コーディネート活動を行なう



木正之氏）は24日、仙台市の宮城県民会館でオーブンセミナー「CRE（企業用不動産）戦略」とCREマネジメント

「企業価値を高める不動産戦略」を開催した。

CRE戦略とは、企業

の事業継続に資する不動産を経営戦略の視点から総合的に再構築すること

により、不動産の潜在価値を引き出し企業価値増大の実現を図るための戦略のこと。

講師は財団法人日本不動産研究所業務部の小林信夫副部長と同業務部企業資産評価プロジェクト室の齋木正人室長で、それぞれ「CREの現状と今後の方向性」、「CRE

ト」と題して講演を行つた。この中で小林氏は「右肩上がりの地価上昇が崩壊し、不動産はリスク資産でもあるとの認識が高まっている中、不動産に対する合理的経営の必要性も一層高まつてゐる」と、CRE戦略構築が注目されている経済的背景を解説。一方、斎木氏は「企業と不動産の周辺環境が大きく変化する中、CRE戦略は企業の内部統制への対応と企業価値の最大化の実現を目指すもの」として、管理

点に移行するCRE戦略の具体論について述べた。

また、アセットブレインズの佐々木事務局長は今後「みちのくCRE研究会」を立ち上げ、地方都市の企業不動産を対象にしたCRE戦略に関する研究とマネジメント推進を活発化させていく方針を示した。

会場には、金融、不動産、建設などさまざまな業界から約100人もの聴講者が訪れ、今話題のテーマに熱心に聞き入っていた。